



社会運動の再生にむけて

韓国の市民・女性・労働運動から学ぶ vol.1



「安熙正性暴力事件」の1審で無罪判決が出た後、「安熙正性暴力事件共同対策委員会」の記者会見の様子(2018年8月14日)。プラカードには「無罪判決を糾弾する」と書かれている。



「#MeTooと共にする市民行動」が開いたパフォーマンス(2018年11月10日)。手に持つ黒いスカーフは女性を抑圧し束縛するもの、特に性差別的な言動を意味し、この後に束縛を外そうという意味をこめてスカーフを空中に放った。

韓国の女性運動活動家たちが語る #MeToo 運動

いかに韓国女性たちはつながり、たたかったのか？ その戦略と成果は？

韓国の#MeToo運動は大きく盛り上がり、広範な成果を獲得しました。その理由のひとつは、女性団体が「組織的対応」に成功したことがあります。本セミナーでは、運動が成功する秘訣について伺います。(通訳あり)

2020年9月24日[木] 18:00～

18:05 ガイダンス 申琪榮 (お茶の水女子大学教授)

18:25 ビデオ講演 「韓国の#MeToo運動と女性運動」(※日本語字幕つき)

金壽暻 KIM SOO HEE (韓国女性団体連合 部長)

18:50 ビデオ講演 「反性暴力運動の frontline—高位公職者の性暴力事件と共同対策委員会」(※日本語字幕つき)

金惠晶 KIM HYE JUNG (韓国性暴力相談所 副所長)

19:15 質疑応答 (通訳: 矢野百合子)

※韓国からは登壇者以外にも両団体のアクティビストが数名参加します。ブレイクアウト・ルームに分かれて交流する機会を設けます。逐次通訳がありますので、ぜひこの機会にご参加ください。



金壽暻 KIM SOO HEE

韓国女性団体連合 (Korea Women's Associations United: KWAU) 部長(暴力・セクシュアリティ担当)
韓国女性団体連合は「#MeTooと共にする市民行動」の中核団体



金惠晶 KIM HYE JUNG

韓国性暴力相談所(Korea Sexual Violence Relief Center: KSVRC)副所長
韓国性暴力相談所は「安熙正性暴力事件共同対策委員会」や「ソウル市長威力による性暴力事件被害者支援団体」の活動の中核を占める

[オンライン開催] Zoomを利用したオンライン開催となります。お申し込みいただいた方には、9月18日にセミナーアクセスのためのURLやID、パスワードをお送りいたします。注意事項など詳細につきましては招待メールをお待ちください。なお、録画での公開はありません。

[参加費] 無料

[申込先] 一般社団法人 生活経済政策研究所 <http://www.seikatsuken.or.jp/>

※9月17日までにHPの申込フォームからご登録いただくか、下記アドレスにお名前(ふりがな)、ご所属、メールアドレスをお申し込みください。

e-mail: info@seikatsuken.or.jp

